

令和4年度 工事仕様書・設計内訳書

工事名称 明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事

工事場所 明石市二見町西二見894地先

工期 契約の翌日から、令和5年3月10日まで

技術者等 現場代理人：他工事との「兼務可」
主任又は監理技術者：「非専任」

課長	担当課長	担当課長	係長	係長	精算者	担当(建築)	担当(電気)	担当(機械)

1. 設計コード 04HA0240

2. 工事内容 (・新築 ・増築 ・改築 ◎改修)

・外壁の全面改修

3. 支払条件

①前 金 払 当該会計年度の出来高予定額の40%以内

②中間前金払 当該会計年度の出来高予定額の20%以内

③部 分 払 令和4年度内1回以内

④完 成 払 完成後、残額一括支払い

4. 特記事項

①関係法令等を遵守し、必要な手続きを遅滞なく行うこと。また、これらに要する費用は、受注者負担とする。

②省エネ、省資源、廃棄物の減量、リサイクルの推進等により、環境負荷の低減を図ること。

③「産業廃棄物の不適正な処理の防止に関する条例」の対象となる建設廃棄物の産業廃棄物処理業者への引渡しが完了したときは、同条例第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督職員に提出すること。

④引渡しまでに要する試験運転及び各試験等の費用は、受注者負担とする。

⑤原則、日曜日、祝日及び夜間は、作業を行わないこと。

学校園の工事では原則として、土曜日の校舎内での作業を行わないこと。

⑥万一、事故や苦情が発生した場合には、速やかに対応するとともに、対応内容を記録し、監督職員に報告すること。

⑦営繕課発行の「契約書・仕様書に基づく提出書類（工事編）」に基づき、必要書類を提出すること。

⑧敷地内及び敷地周辺は、全面禁煙とする。

⑨工事着工前に敷地内外（敷地内の既存建物、近接建物、道路等の構造物など）の撮影を行い、工事完成時に原状復旧が行われているか確認すること。

⑩工事期間中は、必要に応じて交通誘導員を増員すること。

⑪工程、仮設計画等の作成及び工事施工に当たっては、関係部局と十分に事前打合せを行い、施設の運営に支障が生じないように配慮すること。

⑫本設計書は公共建築工事積算基準等（2022年1月1日時点の最新版）に基づき積算している。

⑬公共建築（改修）工事標準仕様書（各工事編）に基づく「書面」は、署名又は押印されたもののほか、印字による記名も含むものとする。

⑭12月末に消防団による詰所待機が数日予定されている。当日の工事可能時間や提灯の吊下げ等仮設対応については協議により決定するものとする。

名 称	数 量	単位	金 領	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単位	金 領	備 考
建築工事	1	式		
計				

建築工事 種目別内訳

3

名 称	数 量	単位	金 領	備 考
建築工事	1	式		
計				

建築工事 科目別内訳

4

建築工事				
名 称	数 量	単位	金 領	備 考
直接仮設	1	式		
外壁改修工事	1	式		
防水改修工事	1	式		
塗装改修・その他工事	1	式		
計				

建築工事 細目別内訳

5

直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 領	備 考
<外壁改修>						
養生(外壁改修)		89.2	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		89.2	m ²			
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	12.3	m ²			
<防水改修>						
養生(防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	76.9	m ²			
整理清掃後片付け (防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	76.9	m ²			
<外部足場等>						
外部足場 (くさび又は枠組, 手すり先行方式)	建柱900 10m未満 3ヶ月 最上部安全手すり 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	225	m ²			
防音シート張り	3ヶ月 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	225	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

6

建築工事		外壁改修工事		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	单 価	金 領	備 考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	176	m ²			
高压水洗	50~100MPa程度 全面除去 既存塗膜面	155	m ²			
高压水洗	30~50MPa程度 劣化部除去 コンクリート打放面	21.5	m ²			
自動式低圧樹脂注入工法	ポンドシングル工法同等 ひび割れ幅1mm以下 壁厚150mm程度	20	m			
Uカットシーリング材充填工法	10×10mm, シーリング材, 樹脂モルタル仕上	20	m			
欠損部補強樹脂モルタル充てん工法 (箇所)	300~400mm角程度, 欠損及び露筋 深さ 50mm程度	1	か所			
欠損部補強樹脂モルタル充てん工法 (箇所)	500~600mm角程度, 欠損及び露筋 深さ 50mm程度	1	か所			
下地調整費	CM-2 ニテ塗	155	m ²			
複層塗材 E	上塗2回 水系アクリルシリコン つやあり 凸部処理 吹付け 下地調整費別途	138	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費別途 軒裏・庇上裏部分	17	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

7

建築工事		防水改修工事		外部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 領	備 考
【屋上・バラット天端】						
ケレン清掃		92	m ²			
水洗い	高压ポンプ 10~15MPa程度 シート防水面、押え金物、ドレン共	92	m ²			
トップ仕上げ塗料塗り	仕上塗料（三ツ星ペルト材カラ-1同等品）加硫ゴム塗料塗替え専用プライマー（三ツ星ペルトEUプライマー同等品）共	92	m ²			
押え金物ビス頭シリング打替え	MS-2 10×10程度 ビス@300程度 撤去共	49	m			
【庇天端】						
水洗い	高压ポンプ 10~15MPa程度	1.2	m ²			
塗膜防水（材工共）	X-2 密着工法 ケレンゴム系 平面 表面塗装シリバー プライマー共	1.2	m ²			
【コンクリート基礎】						
下地調整費	CM-2 コテ塗	21.5	m ²			
塗膜防水（材工共）	X-2 密着工法 ケレンゴム系 立上り 表面塗装シリバー	21.5	m ²			
【その他】						
建具廻りシリング	一般部 変成シリコン系（MS-2） 15×10 水切取合い共	48	m			
金物・水切取合いシリング	一般部 変成シリコン系（MS-2） 15×10	10	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい（カラー）	径100 支持金物共	12.3	m			
カラー塩ビ製角枠	Φ100 SUS防塵網・縦手共	2	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

8

建築工事		塗装改修・その他工事		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【塗装改修】						
既存鉄鋼部 DP塗替	RB種 塗料1級 計13箇所 0.5m ² /箇所未満程度	1	式			
	既存鉄柱(Φ65 H=850)1箇所 既存鋼管(Φ30)3箇所 計L=6.5m 既存床下換気口(300×150)6箇所 既存提灯かけ(Φ10 L=500)1箇所 既存TVアンテナ(Φ10 L=1m)1箇所 既存シャッタ-枠(幅120 L=11.8m)1箇所					
小計						
【その他】						
水洗い	高圧ポンプ 10~15MPa程度 コンクリート土間58.5m ² 、建具12.3m ² 照明2箇所、シャッタ-9.6m ²	1	式			
ガラス清掃		12.3	m ²			
シャッタ-持ち手交換	既製品 樹脂製 w80程度 取付部接着剤充填 既存撤去共 2箇所	1	式			
アルミ製掲示板 1820×1800程度	コンクリート基礎□650×H400、引違いたけ 、強化ガラス5、ソーラーLED照明付 スピーカー・スピーカーPKAH1810HS同等品	1	か所			
換気フード	350×350程度 SUS製、防虫網付き 、周囲シーリング スピーカー・スピーカーSFMSZ350同等品	3	か所			
換気口カバー	防水型、SUS製、ガリ付き、周囲シーリング スピーカー・スピーカーUKMZN100B同等品	9	か所			
ホースBOX	900×600×270程度 屋外用、マール製、コンクリート架台	1	個			
消火器BOX	750×280×210程度 屋外用、マール製、コンクリート架台	1	個			
水栓柱	□100×600程度 合成樹脂製 横水栓、土間基礎共	1	個			
小計						
【撤去・処分】						
外壁仕上げ 撤去	集積共	155	m ²			

建築工事 細目別内訳

9

建築工事		塗装改修・その他工事		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	单 価	金 額	備 考
外壁仕上げ 運搬		155	m ²			
外壁仕上げ 処分		155	m ²			
たてどい撤去	VP管 集積共	12.3	m			
たてどい運搬	VP管	12.3	m			
たてどい処分	VP管	12.3	m			
掲示板 撤去・運搬	1820×1800程度 積込共 周囲カッタ切り コンクリート基礎口300×600程度共	1	個			
掲示板 処分		1	個			
ホースBOX 撤去・運搬	900×600×270程度 積込共 コンクリート架台共	9	個			
ホースBOX 処分		9	個			
消火器BOX 撤去・運搬	750×280×210程度 積込共	1	個			
消火器BOX 処分		1	個			
水栓柱 撤去・運搬	□100×600程度 積込共 合成樹脂製 横水栓共 周囲カッタ切り 土間基礎共	1	個			
水栓柱 処分		1	個			
廃棄物コンテナ 設置・運搬	4.0m ³	2	台			
廃棄物コンテナ処分	4.0m ³	2	台			
小計						
計						

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 额	備 考
交通誘導警備員B		10	人			
仮囲い カーネン	H700 コーナー、運搬費共 3ヶ月 チュープライ共 22m程度	1	式			
工事用車両駐車場	乗用車程度 3ヶ月	2	台			
キーボックス	ナット-錠又はシリカ-錠(キー2本以上) 足場等への固定金物共	1	個			
計						

明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事																																																																																																																																														
改修特記仕様書																																																																																																																																														
I 工事概要																																																																																																																																														
1 工事場所	明石市二見町西二見894地先																																																																																																																																													
2 敷地面積	—																																																																																																																																													
3 工事種目	建築一式工事(外壁改修工事)																																																																																																																																													
4 工事内容	外壁改修工事 防水改修工事 塗装改修工事																																																																																																																																													
II 建築改修工事仕様																																																																																																																																														
1 共通仕様																																																																																																																																														
<p>本面及び特記仕様書に記載のない事項は、全て国土交通省大臣官房官房営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「改修様式」という)による。</p> <p>ただし、改修様式に規定されていない事項は、国土交通省大臣官房官房営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「様式」という)による。</p>																																																																																																																																														
2 特記仕様																																																																																																																																														
<p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、ともに適用する。</p> <p>(3) 特記事項に記載の[...]の表示番号は、改修様式の該当項目又は該当表を示す。</p> <p>(4) 特記事項に記載の<...>の表示番号は、様式の該当項目又は該当表を示す。</p> <p>(5) 使用材料は、再生材、F☆☆☆☆、低VOC材料を選択すること(各項共通事項)。</p> <p>(6) 構造特記仕様書が別にある場合は、特記なき限り、構造特記仕様書を優先すること(各項共通事項)。</p>																																																																																																																																														
章項目		特記事項																																																																																																																																												
一般共通事項	①適用基準等	※建築工事標準詳細図((社)公共建築協会最新版) ※工事写真の撮り方 建築編((社)公共建築協会最新版) ※工事写真撮影ガイド 建築工事編及び解体工事編 ((社)公共建築協会最新版)																																																																																																																																												
	②工事実績情報 サービス(CORINS) の登録	※請負金額が500万円以上の場合、適用する。 [1.1.4]																																																																																																																																												
	③再生資源利用 (促進)関係	※計画書及び実施書を作成する(Excelデータ可) ※建設リサイクル関係法令に基づく通知・届出等の必要がない 工事はデータのみ提出																																																																																																																																												
	④品質計画等	建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 ※防水改修工事 ※外壁改修工事 ※屋根改修工事 ※風速V=34m/s 地表面粗度区分(・I・II・III・IV) ・積雪区分 H12建告1455号 別表()																																																																																																																																												
	⑤電気保安技術者	※適用する [1.3.3]																																																																																																																																												
	⑥施工条件	工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 [1.3.5] ※工事現場内 ○工事現場外(資料は工事費に含む) 施工順序の制約 あり [1.3.6] その他の施工条件は、監督職員との協議による。 [1.3.5]																																																																																																																																												
<table border="1"> <tr> <td>⑦発生材の処理等</td> <td colspan="3">発注者に引渡しを要するもの 特別管理産業廃棄物 現場において再利用を図るもの 現場において再資源化を図るもの ・アスペクト含有せっこうボードを除くアスペクト含有成形板の処分 ※埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場で埋立処分する。中間処理の場合は、都道府県知事の設置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認可を受けた無害化処理施設において、無害化処理を行う。 ・ヒ素及びカドミウム含有せっこうボードの処理 [1.3.12] ※他のせっこうボードと分別解体した後、製造業者に回収を委託又は管理型最終処分場で埋立処分する。 ・アスペクト含有せっこうボード及びヒ素、カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理 [1.3.12] ※最終処分とする場合は、管理型最終処分場で埋立処分する。 再資源化する場合は、再資源化施設の受入条件を確認の上、適切に分別後、再資源化施設で再資源化する。 PCB含有シリシング材の分析調査 行う [1.3.12] 特別管理産業廃棄物の分析調査 行う [1.3.12]</td> <td colspan="3">※施工図等の著作権に関する当該建築物に係る使用権は、発注者に委譲する。 施工図の様式 ・二つ折り製本1部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「施工図」と明記) ○A3程度で軽微なものは、監督職員の承諾により完成図書に縫じ込みも可とする。</td> <td colspan="3">5表示板 ⑥工事用水 ⑦工事用電力 ⑧仮設物撤去等</td> <td colspan="3">※設置する(明石市指定様式(900×600)) [2.4.1] (ただし、請負代金1000万円以上かつ契約工期90日以上の工事に限る)</td> </tr> <tr> <td>⑧建築材料等</td> <td colspan="3">※本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、これと同等のものとすることができる。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、国土交通省大臣官房官房営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料評価名簿(最新版)」から材料を選定した場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認を得ること。</td> <td colspan="3">14施工図等の取扱い 15工事写真 16完成写真</td> <td colspan="3">構内既存施設 利用不可 ○利用可(・有償 ○無償) 構内既存施設 利用不可 ○利用可(・有償 ○無償)</td> <td colspan="3">※原形に復する [2.5.1]</td> </tr> <tr> <td>⑨特別な材料の工法</td> <td colspan="3">※改修標記及び標記に記載のない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。</td> <td colspan="3">17設備工事との取り合い 18設計GL 19交通誘導員</td> <td colspan="3">3防改修工事 ①施工一般 ②防水改修工事の種類及び工法</td> <td colspan="3">降雨等に対する養生方法 ※3.1.3(5)による 図示</td> </tr> <tr> <td>⑩施工数量調査</td> <td colspan="3">調査範囲及び調査方法 ※図示 [1.5.2] 調査により既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 [1.5.3]</td> <td colspan="3">2假設工事 ①足場その他 ②養生</td> <td colspan="3">施工箇所、種類、工法等 ※図示 下表 [3.1.4][表3.1.1][3.3.2][3.3.3][表3.3.3~10][3.4.2] [3.4.3][表3.4.1~3][3.5.2][3.5.3][表3.5.1~2] [3.6.3][表3.6.1~2][3.7.2][3.7.3][表3.7.1]</td> <td colspan="3">(種類、厚さ、露出防水の仕上塗料の種類及び使用量、珪砂入などを記入する)</td> </tr> <tr> <td>11技能士</td> <td colspan="3">[1.6.2]</td> <td colspan="3">2假設工事 ①足場その他 ②養生</td> <td colspan="3">施工箇所/部位 既存防水層種別等 屋上・バラット 加硫ゴム系 ケレン・下地調整 平場・立上 シート防水 トップ塗替</td> <td colspan="3">既存防水層(立上り部等)の撤去 ※既存防水層(立上り部等)の撤去 [3.1.4][表3.1.1]</td> </tr> <tr> <td>12化学物質の濃度測定</td> <td colspan="3">測定期間 [1.6.9] ・工事着手前 工事完成時 工事着手前及び完成時 測定対象化学物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キレン バラジウムペッセン ※エチレングリコール ※スズレ 測定方法 ※パッケージ採取機器(サンプラー)を使用し、分析機関にて分析 測定対象室 () 測定箇所数 ()箇所 化学物質の濃度基準値 ホルムアルデヒド100μg/m3(0.08ppm)トルエン260μg/m3(0.07ppm) キレン870μg/m3(0.20ppm)バラジウムペッセン240μg/m3(0.04ppm) エチレングリコール3800μg/m3(0.88ppm)スズレ220μg/m3(0.05ppm) ※化学物質濃度が基準値を超えている場合は、工事部分を引渡すことは不可のため、基準値以下になるまで再測定を行うこと。</td> <td colspan="3">3假設間仕切り 4監督職員事務所</td> <td colspan="3">3既存防水層の処理 ①既存防水層 ②アスファルト及び改質アスファルトシート ③アスファルトシート</td> <td colspan="3">既存防水層(ルーフィング類の製造所の仕様) 改修用ドレン 設ける [3.2.5] 既存下地の補修及び処置 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 [3.2.6]</td> </tr> <tr> <td>13完成図等</td> <td colspan="3">※完成図 [1.8.1~1.8.3][表1.8.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ・二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※JWW形式CADデータ ※PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※保全に関する資料 1部 ※2部</td> <td colspan="3">3假設間仕切り 4監督職員事務所</td> <td colspan="3">3既存防水層の処理 ①既存防水層 ②アスファルト及び改質アスファルトシート ③アスファルトシート</td> <td colspan="3">既存防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4AS、M4ASI、M4C、M4DI、L4X工法の場合) ・除去する 既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※図示 [3.2.6] 架台廻り等の処理 ※図示 監督員と協議 [3.2.6]</td> </tr> <tr> <td colspan="12"> <table border="1"> <tr> <td>課長</td> <td>担当課長</td> <td>係長</td> <td>担当</td> <td>製作年月日</td> <td>工事名称</td> <td>内 1</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>2022年10月</td> <td>明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td></td> <td>図面名称</td> <td>縮尺 1</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td></td> <td>改修工事特記仕様書(1)</td> <td>全葉 7</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>												⑦発生材の処理等	発注者に引渡しを要するもの 特別管理産業廃棄物 現場において再利用を図るもの 現場において再資源化を図るもの ・アスペクト含有せっこうボードを除くアスペクト含有成形板の処分 ※埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場で埋立処分する。中間処理の場合は、都道府県知事の設置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認可を受けた無害化処理施設において、無害化処理を行う。 ・ヒ素及びカドミウム含有せっこうボードの処理 [1.3.12] ※他のせっこうボードと分別解体した後、製造業者に回収を委託又は管理型最終処分場で埋立処分する。 ・アスペクト含有せっこうボード及びヒ素、カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理 [1.3.12] ※最終処分とする場合は、管理型最終処分場で埋立処分する。 再資源化する場合は、再資源化施設の受入条件を確認の上、適切に分別後、再資源化施設で再資源化する。 PCB含有シリシング材の分析調査 行う [1.3.12] 特別管理産業廃棄物の分析調査 行う [1.3.12]			※施工図等の著作権に関する当該建築物に係る使用権は、発注者に委譲する。 施工図の様式 ・二つ折り製本1部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「施工図」と明記) ○A3程度で軽微なものは、監督職員の承諾により完成図書に縫じ込みも可とする。			5表示板 ⑥工事用水 ⑦工事用電力 ⑧仮設物撤去等			※設置する(明石市指定様式(900×600)) [2.4.1] (ただし、請負代金1000万円以上かつ契約工期90日以上の工事に限る)			⑧建築材料等	※本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、これと同等のものとすることができる。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、国土交通省大臣官房官房営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料評価名簿(最新版)」から材料を選定した場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認を得ること。			14施工図等の取扱い 15工事写真 16完成写真			構内既存施設 利用不可 ○利用可(・有償 ○無償) 構内既存施設 利用不可 ○利用可(・有償 ○無償)			※原形に復する [2.5.1]			⑨特別な材料の工法	※改修標記及び標記に記載のない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。			17設備工事との取り合い 18設計GL 19交通誘導員			3防改修工事 ①施工一般 ②防水改修工事の種類及び工法			降雨等に対する養生方法 ※3.1.3(5)による 図示			⑩施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ※図示 [1.5.2] 調査により既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 [1.5.3]			2假設工事 ①足場その他 ②養生			施工箇所、種類、工法等 ※図示 下表 [3.1.4][表3.1.1][3.3.2][3.3.3][表3.3.3~10][3.4.2] [3.4.3][表3.4.1~3][3.5.2][3.5.3][表3.5.1~2] [3.6.3][表3.6.1~2][3.7.2][3.7.3][表3.7.1]			(種類、厚さ、露出防水の仕上塗料の種類及び使用量、珪砂入などを記入する)			11技能士	[1.6.2]			2假設工事 ①足場その他 ②養生			施工箇所/部位 既存防水層種別等 屋上・バラット 加硫ゴム系 ケレン・下地調整 平場・立上 シート防水 トップ塗替			既存防水層(立上り部等)の撤去 ※既存防水層(立上り部等)の撤去 [3.1.4][表3.1.1]			12化学物質の濃度測定	測定期間 [1.6.9] ・工事着手前 工事完成時 工事着手前及び完成時 測定対象化学物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キレン バラジウムペッセン ※エチレングリコール ※スズレ 測定方法 ※パッケージ採取機器(サンプラー)を使用し、分析機関にて分析 測定対象室 () 測定箇所数 ()箇所 化学物質の濃度基準値 ホルムアルデヒド100μg/m3(0.08ppm)トルエン260μg/m3(0.07ppm) キレン870μg/m3(0.20ppm)バラジウムペッセン240μg/m3(0.04ppm) エチレングリコール3800μg/m3(0.88ppm)スズレ220μg/m3(0.05ppm) ※化学物質濃度が基準値を超えている場合は、工事部分を引渡すことは不可のため、基準値以下になるまで再測定を行うこと。			3假設間仕切り 4監督職員事務所			3既存防水層の処理 ①既存防水層 ②アスファルト及び改質アスファルトシート ③アスファルトシート			既存防水層(ルーフィング類の製造所の仕様) 改修用ドレン 設ける [3.2.5] 既存下地の補修及び処置 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 [3.2.6]			13完成図等	※完成図 [1.8.1~1.8.3][表1.8.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ・二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※JWW形式CADデータ ※PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※保全に関する資料 1部 ※2部			3假設間仕切り 4監督職員事務所			3既存防水層の処理 ①既存防水層 ②アスファルト及び改質アスファルトシート ③アスファルトシート			既存防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4AS、M4ASI、M4C、M4DI、L4X工法の場合) ・除去する 既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※図示 [3.2.6] 架台廻り等の処理 ※図示 監督員と協議 [3.2.6]			<table border="1"> <tr> <td>課長</td> <td>担当課長</td> <td>係長</td> <td>担当</td> <td>製作年月日</td> <td>工事名称</td> <td>内 1</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>2022年10月</td> <td>明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td></td> <td>図面名称</td> <td>縮尺 1</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td></td> <td>改修工事特記仕様書(1)</td> <td>全葉 7</td> </tr> </table>												課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	内 1					2022年10月	明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事							図面名称	縮尺 1						改修工事特記仕様書(1)	全葉 7
⑦発生材の処理等	発注者に引渡しを要するもの 特別管理産業廃棄物 現場において再利用を図るもの 現場において再資源化を図るもの ・アスペクト含有せっこうボードを除くアスペクト含有成形板の処分 ※埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場で埋立処分する。中間処理の場合は、都道府県知事の設置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認可を受けた無害化処理施設において、無害化処理を行う。 ・ヒ素及びカドミウム含有せっこうボードの処理 [1.3.12] ※他のせっこうボードと分別解体した後、製造業者に回収を委託又は管理型最終処分場で埋立処分する。 ・アスペクト含有せっこうボード及びヒ素、カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理 [1.3.12] ※最終処分とする場合は、管理型最終処分場で埋立処分する。 再資源化する場合は、再資源化施設の受入条件を確認の上、適切に分別後、再資源化施設で再資源化する。 PCB含有シリシング材の分析調査 行う [1.3.12] 特別管理産業廃棄物の分析調査 行う [1.3.12]			※施工図等の著作権に関する当該建築物に係る使用権は、発注者に委譲する。 施工図の様式 ・二つ折り製本1部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「施工図」と明記) ○A3程度で軽微なものは、監督職員の承諾により完成図書に縫じ込みも可とする。			5表示板 ⑥工事用水 ⑦工事用電力 ⑧仮設物撤去等			※設置する(明石市指定様式(900×600)) [2.4.1] (ただし、請負代金1000万円以上かつ契約工期90日以上の工事に限る)																																																																																																																																				
⑧建築材料等	※本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、これと同等のものとすることができる。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、国土交通省大臣官房官房営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料評価名簿(最新版)」から材料を選定した場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認を得ること。			14施工図等の取扱い 15工事写真 16完成写真			構内既存施設 利用不可 ○利用可(・有償 ○無償) 構内既存施設 利用不可 ○利用可(・有償 ○無償)			※原形に復する [2.5.1]																																																																																																																																				
⑨特別な材料の工法	※改修標記及び標記に記載のない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。			17設備工事との取り合い 18設計GL 19交通誘導員			3防改修工事 ①施工一般 ②防水改修工事の種類及び工法			降雨等に対する養生方法 ※3.1.3(5)による 図示																																																																																																																																				
⑩施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ※図示 [1.5.2] 調査により既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 [1.5.3]			2假設工事 ①足場その他 ②養生			施工箇所、種類、工法等 ※図示 下表 [3.1.4][表3.1.1][3.3.2][3.3.3][表3.3.3~10][3.4.2] [3.4.3][表3.4.1~3][3.5.2][3.5.3][表3.5.1~2] [3.6.3][表3.6.1~2][3.7.2][3.7.3][表3.7.1]			(種類、厚さ、露出防水の仕上塗料の種類及び使用量、珪砂入などを記入する)																																																																																																																																				
11技能士	[1.6.2]			2假設工事 ①足場その他 ②養生			施工箇所/部位 既存防水層種別等 屋上・バラット 加硫ゴム系 ケレン・下地調整 平場・立上 シート防水 トップ塗替			既存防水層(立上り部等)の撤去 ※既存防水層(立上り部等)の撤去 [3.1.4][表3.1.1]																																																																																																																																				
12化学物質の濃度測定	測定期間 [1.6.9] ・工事着手前 工事完成時 工事着手前及び完成時 測定対象化学物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キレン バラジウムペッセン ※エチレングリコール ※スズレ 測定方法 ※パッケージ採取機器(サンプラー)を使用し、分析機関にて分析 測定対象室 () 測定箇所数 ()箇所 化学物質の濃度基準値 ホルムアルデヒド100μg/m3(0.08ppm)トルエン260μg/m3(0.07ppm) キレン870μg/m3(0.20ppm)バラジウムペッセン240μg/m3(0.04ppm) エチレングリコール3800μg/m3(0.88ppm)スズレ220μg/m3(0.05ppm) ※化学物質濃度が基準値を超えている場合は、工事部分を引渡すことは不可のため、基準値以下になるまで再測定を行うこと。			3假設間仕切り 4監督職員事務所			3既存防水層の処理 ①既存防水層 ②アスファルト及び改質アスファルトシート ③アスファルトシート			既存防水層(ルーフィング類の製造所の仕様) 改修用ドレン 設ける [3.2.5] 既存下地の補修及び処置 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 [3.2.6]																																																																																																																																				
13完成図等	※完成図 [1.8.1~1.8.3][表1.8.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ・二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※JWW形式CADデータ ※PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※保全に関する資料 1部 ※2部			3假設間仕切り 4監督職員事務所			3既存防水層の処理 ①既存防水層 ②アスファルト及び改質アスファルトシート ③アスファルトシート			既存防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4AS、M4ASI、M4C、M4DI、L4X工法の場合) ・除去する 既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※図示 [3.2.6] 架台廻り等の処理 ※図示 監督員と協議 [3.2.6]																																																																																																																																				
<table border="1"> <tr> <td>課長</td> <td>担当課長</td> <td>係長</td> <td>担当</td> <td>製作年月日</td> <td>工事名称</td> <td>内 1</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>2022年10月</td> <td>明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td></td> <td>図面名称</td> <td>縮尺 1</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td></td> <td>改修工事特記仕様書(1)</td> <td>全葉 7</td> </tr> </table>												課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	内 1					2022年10月	明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事							図面名称	縮尺 1						改修工事特記仕様書(1)	全葉 7																																																																																																							
課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	内 1																																																																																																																																								
				2022年10月	明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事																																																																																																																																									
					図面名称	縮尺 1																																																																																																																																								
					改修工事特記仕様書(1)	全葉 7																																																																																																																																								

○コンクリート打ち放し仕上げ外壁

<p>① ひび割れ部（樹脂注入工法）：ひび割れ幅0.2～1mm以下</p> <p>① 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</p> <p>① 汚れの除去 ↓ ② マーキング ↓ ③ 注入パイプ取付 ↓ ④ 仮止めシール ↓ ⑤ エポキシ樹脂注入 ↓ ⑥ 培生 ↓ ⑦ 清掃 ↓ ⑧ 後査</p> <p>② ひび割れ部（Uカットシール材充てん工法）：ひび割れ幅1mm越え</p> <p>① Uカット ↓ ② 清内の清掃 ↓ ③ ブライマー塗布 ↓ ④ シール ↓ ⑤ サンブリング ↓ ⑥ シーリング材充填 ↓ ⑦ シーリング材充填 ↓ ⑧ ポリマーセメントモルタル塗り ↓ ⑨ 培生</p>	<p>③ ひび割れ部（シール工法）</p> <p>① 汚れの除去 ↓ ② ブライマー塗布 ↓ ③ シール ↓ ④ けい砂の散布 ↓ ⑤ 培生 ↓ ⑥ 清掃</p> <p>④ 欠損部（充てん工法）</p> <p>① エポキシ樹脂モルタル充填工法</p> <p>① 欠損部下地調整 ↓ ② ブライマー塗布 ↓ ③ エポキシ樹脂モルタル充填 ↓ ④ 培生 ↓ ⑤ 清掃 ↓ ⑥ 檢査</p>	<p>⑤ 欠損部（充てん工法）</p> <p>⑤ ポリマーセメントモルタル充填又は塗付け工法</p> <p>① 支損部下地調整 ↓ ② ブライマー塗布 ↓ ③ ポリマーセメントモルタル充填 ↓ ④ 培生 ↓ ⑤ 清掃 ↓ ⑥ 培生 ↓ ⑦ 後査</p>																								
<p>特記事項</p> <p>・図中 ③・⑤ は、地震災害復旧工事においては、単独では適用しない。</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">課長</td> <td style="width: 10%; text-align: center;"></td> <td style="width: 10%;">担当課長</td> <td style="width: 10%; text-align: center;"></td> <td style="width: 10%;">係長</td> <td style="width: 10%; text-align: center;"></td> <td style="width: 10%;">担当</td> <td style="width: 10%; text-align: center;"></td> </tr> <tr> <td>製作年月日</td> <td colspan="6">工事名称 明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事</td> <td>内 3</td> </tr> <tr> <td>2022年10月</td> <td colspan="6">図面名称 外壁改修仕様(1)</td> <td>全葉 7</td> </tr> </table> <p>明石市都市局住宅・建築室営繕課</p>	課長		担当課長		係長		担当		製作年月日	工事名称 明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事						内 3	2022年10月	図面名称 外壁改修仕様(1)						全葉 7	
課長		担当課長		係長		担当																				
製作年月日	工事名称 明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事						内 3																			
2022年10月	図面名称 外壁改修仕様(1)						全葉 7																			

建築工事メーカーリスト

※建築工事の使用材料及び施工については、本メーカーリストの中より選択することを原則とし、記載がないものについては、監督員の承諾を得るものとする。（参考：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・社団法人「公共建築協会」発行 建築材料等評価名簿）

	名称・品名	会社名		名称・品名	会社名					
防水工事	アスファルト及び改質アスファルトシート	・七王工業㈱・日新工業㈱・田島ルーフィング㈱・東亜工業㈱・昭石化工㈱・㈱A Rセンター	塗装工事	一般塗装	・関西ペイント㈱・日本ペイント㈱・大日本塗料㈱・ロックペイント㈱・㈱トウベ・大同塗料㈱・神東塗料㈱・大谷塗料㈱					
合 成 樹 脂 系 子 シ テ ン ジ ン グ	加硫ゴム系ルーフィングシート	・三ツ星ベルト㈱・シバタ工業㈱・田島ルーフィング㈱・日新工業㈱・ニッタ化成品㈱・アサヒゴム㈱		吹付塗装	・菊水化学工業㈱・エスケー化研㈱・AGCコーテック㈱・関西ペイント㈱・日本ペイント㈱・神東塗料㈱・大日本塗料㈱・㈱ハマキャスト(天然石調)					
塗膜防水(塗布)	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート	・アーキヤマデ㈱・ロンシール工業㈱・田島ルーフィング㈱・日新工業㈱・早川ゴム㈱	内外装工事	フローリング	・大建工業㈱・朝日ウッドテック㈱・㈱ウッドワン・天龍木材㈱・永大産業㈱ ※県産木材の指定があれば木工事の項による。					
	ウレタンゴム系	・保土谷建材㈱・ニッタ化成品㈱・三ツ星ベルト㈱・AGCポリマー建材㈱		ビニル床タイル	・東リ㈱・田島ルーフィング㈱・ロンシール工業㈱・㈱エービーシー商会・㈱サンゲツ					
	ゴムアスファルト系	・成瀬化学工業・日新工業㈱・田島ルーフィング㈱・東亜工業㈱・㈱ウォータイト		ビニル床シート	・東リ㈱・田島ルーフィング㈱・ロンシール工業㈱・㈱エービーシー商会・タキロンシーアイ㈱・㈱サンゲツ					
	ケイ酸質系及びポリマー系-EVA系	・大関化学工業㈱・昭和電工建材㈱・大日化成㈱・ユニオン建材工業㈱		カーペット	・東リ㈱・田島ルーフィング㈱・ロンシール工業㈱・㈱サンゲツ・㈱スミノエ・アスワン㈱					
	シーリング	・コニシ㈱・セメダイナ㈱・サンスター技研㈱・日本シーカ㈱・横浜ゴム㈱		クロス	・リリカラ㈱・㈱サンゲツ・㈱シンコール・東リ㈱・㈱スミノエ					
	※各防水種別でリストになくても、メインとなる防水工法のメーカーにその種別の防水の取り扱いがあれば使用可とする。									
石工事	石	・関ヶ原石材㈱・矢橋大理石㈱・神戸大理石業㈱・㈱池西石材		メラミン不燃化粧板(抗菌)	・アイカ工業㈱・イビケン㈱・日本デコラックス㈱					
	人工大理石	・㈱アドヴァン・㈱エービーシー商会・アイカ工業㈱・㈱シブタニ		岩綿吸音板	・大建工業㈱・東洋テックス㈱・吉野石膏㈱					
タイル工事	タイル	・㈱LIXIL・㈱ダントー・KYタイル㈱・TOTO㈱・ニッタイ工業㈱	ユニット及び その他の工事	カーテン・舞台幕	・㈱スミノエ・アスワン㈱・㈱川島織物セルコン・㈱シンコール・東リ㈱・㈱サンゲツ					
木工事	兵庫県産木材	・兵庫県木材業協同組合連合会(兵庫県木連県産木材供給部会)会員メーカーによる。		流し台	・ナスラック㈱・㈱LIXIL・タカラスタンダード㈱・㈱トヨーキッチンスタイル					
屋根・構工事	金属板	・JFE鋼板㈱・㈱淀川製鋼所・日鉄住金鋼板㈱・元旦ビューティー工業㈱・三晃金属工業㈱		シャワーユニット	・TOTO㈱・㈱LIXIL・パナソニック㈱・日ポリ化工㈱					
	シングル	・田島ルーフィング㈱・日新工業㈱		教育施設用家具	・㈱西尾家具芸社・㈱内田洋行					
	塩化ビニル製樋	・ケイミュー㈱・三菱ケミカルインフラテック㈱・タキロンシーアイ㈱・積水化学工業㈱		ブラインド	・立川ブラインド工業㈱・㈱ニチベイ・トーソー㈱					
金属工事	アルミ笠木 EXP. Jカバー	・㈱エービーシー商会・理研軽金属工業㈱・三協立山㈱・㈱バラキャップ社・カネソウ㈱		舞台装置	・㈱博電舎・㈱シネマ工房・㈱オーエス・日本スクリーン㈱					
	天井・床点検口	・ナカ工業㈱・理研軽金属工業㈱・㈱ダイケン		屋内運動場椅子収納台車	・フジタス工業㈱・㈱丸橋鉄工(代理店㈱カンサイ)・セノ一㈱					
	グレーチング ステンレス金物 排水金物等	・カネソウ㈱・㈱ニムラ・福西鑄物㈱・中部コーポレーション		体育器具	・セノ一㈱・㈱小川長春館・㈱ニシオカ・日本体器㈱					
	建築金物 (手摺・ノステップ) (見切金物等)	・ナカ工業㈱・ワイエム工業㈱・ケージーパルテック㈱・㈱シンドウ工業 ・杉田エース㈱・㈱ナスタ・㈱ダイケン・神栄ホームクリエイト㈱(旧新協和)・㈱アシスト	屋外附帯工事	フェンス	・JFE建材㈱・朝日スチール工業㈱・日鉄建材㈱					
建具工事	シャッター オーバーヘッドドア	・文化シャッター㈱・三和シャッター工業㈱・東洋シャッター㈱・金剛産業㈱		防球ネット	・塙本商事機械㈱・朝日スチール工業㈱・㈱アスノ・㈱センターサービス					
	自動ドア閉鎖駆動装置	・ナブテスコ㈱・扶桑電気工業㈱	外壁改修工事	外壁改修【施工】	・㈱コンステック・菊水化学工業㈱・ショーボンド建設㈱・大成工材㈱・㈱伏見工業					
	鍵	・㈱ゴール・美和ロック㈱		ピンネット工法【施工】	・コニシ㈱(ポン・カボ・ピンネット)・㈱リノテック(エトボリヤー)・全日本外壁ピンネット工事業協同組合(ケモピネット)※第三者賠償責任保険付					
	ハンガードア	・文化シャッター㈱・三和シャッター工業㈱・㈱くろがね工作所・小松ウォール工業㈱・コマニー㈱		7>スト含有塗材等 除去工法【施工】	・ダイオーテック㈱(キュームブラスト)・㈱マルホウ(ウータークリーン)・㈱アシレ(キューウォータージェット)※()内は除去工法名の一例					
	スライディングウォール	・㈱ニチベイ・立川ブラインド工業㈱・コマニー㈱・小松ウォール工業㈱								
	トイレブース	・コマニー㈱・小松ウォール工業㈱・信越ファインテック㈱・三和シャッター工業㈱・文化シャッター㈱								
	ガラス ガラスブロック	・AGC㈱・セントラル硝子㈱・日本板硝子㈱ ・日本電気硝子㈱(電気硝子建材㈱)								
	スクールパーテーション (鋼製軽量建具)	・コマニー㈱・文化シャッター㈱・三和シャッター工業㈱・小松ウォール工業㈱								
	防煙垂壁	・AGC㈱・セントラル硝子㈱・日本板硝子㈱・㈱ミヨシ・三和シャッター工業㈱・文化シャッター㈱								
特記事項			課長	担当課長	係長	担当	担当	製作年月日	工事名称 明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事	内 4
								2022年10月	図面名称 建築工事メーカーリスト	縮尺 1
										全葉 7

令和4年(2022年)4月改訂

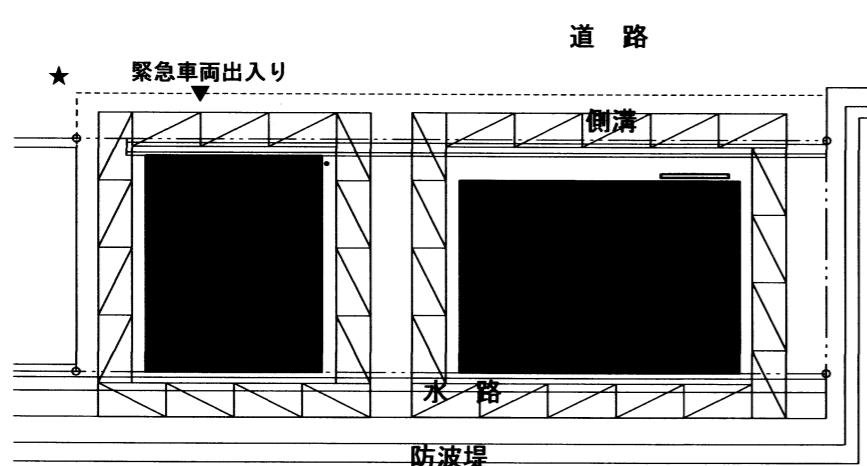


明石市都市局住宅・建築室営繕課



工事場所：二見町西二見894番地先
(西二見班詰所)

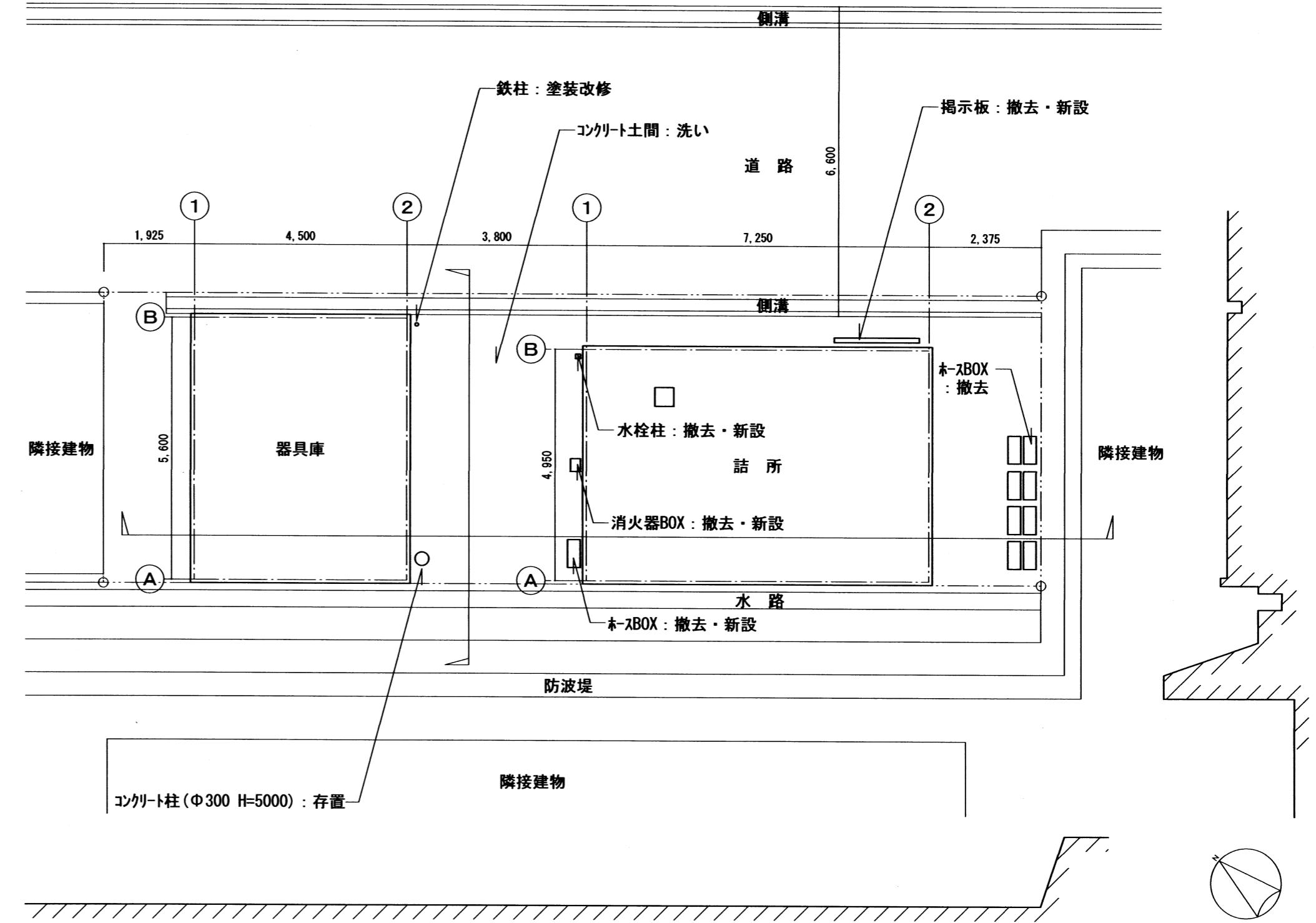
付近見取図 1/2500



凡例
■ 今回工事建物
□ 外部足場(W900) 防音シート共 カーポート 22m程度 フレーミング共
★ 交通誘導員 (スポット) 10人

※施工中の道路際には、照明ロープ等の安全対策を行い、通行人・車両の安全を確保すること
※器具庫の足場設置に際しては、緊急時に器具庫内の緊急車両が出动できるように開口を確保すること
※詰所及び器具庫の鍵については、キーボックス等を設置し、適切に管理すること
※道路占用許可（明石市道路総務課）、道路使用許可（明石警察署）、
港湾水域（公共空地）専用許可（加古川土木事務所）を取得の上、施工を行うこと

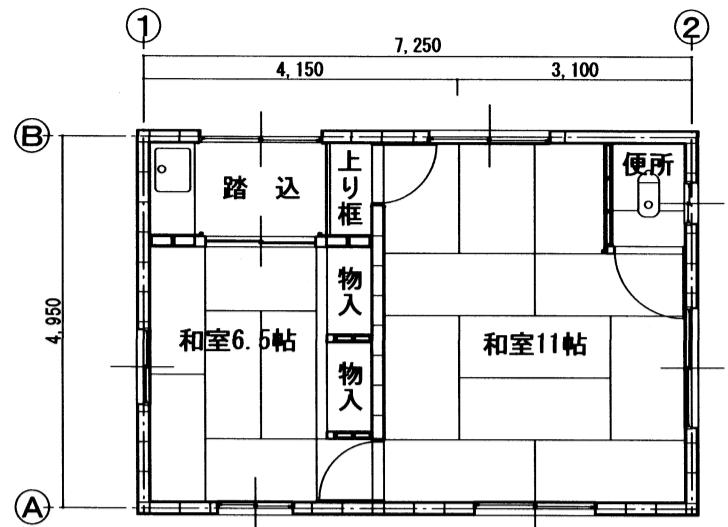
(参考) 仮設計画図 1/200



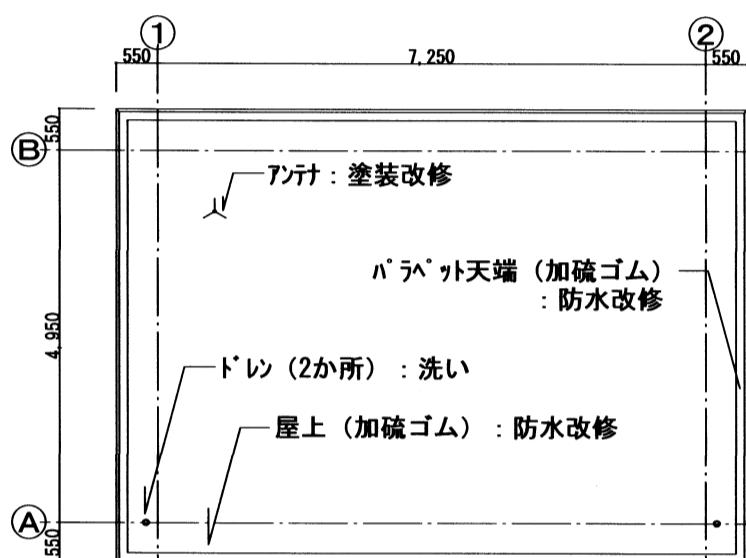
配置図 1/100

改修内容	参考数量	改修内容	参考数量
<外壁改修>			
既存塗膜面超高圧水洗 (50~100MP・全面除去) : 外壁・パラペット・庇 (軒裏・上裏共)	176m ²	<防水改修>	
既存シリコン打放面高圧水洗 (30~50MP・劣化部除去) : コンクリート基礎	155m ²	屋上、パラペット天端 既存加硫ゴム系シート防水面高圧水洗 (10~15MP・汚れ除去) 既存端部 L型押え金物、既存ドレン共	92m ²
ひび割れ部 PTFEシリコン低圧注入工法 (ひび割れ幅0.2~1mm以下)	21.5m ²	既存防水シート下地調整 (アライヤ程度) の上、トッピング仕上げ塗装塗り	92m ²
ひび割れ部 PTFEシリコン充填工法 (ひび割れ幅1mm越え)	20m	押え金物ビス頭シリング打替え (MS-2、ビス@300程度)	49m
欠損部 PTFEシリコン充填工法 (モルタル欠損部: 300~400mm × t50程度/箇所)	20m	庇天端 既存塗膜面高圧水洗 (10~15MP・汚れ除去)	1.2m ²
欠損部 PTFEシリコン充填工法 (モルタル欠損部: 500~600mm × t50程度/箇所)	1箇所	下地調整 (アライヤ程度) の上、ルクシ系塗膜防水X-2	1.2m ²
既存仕上塗材面下地補修 (CM-2)	155m ²	・コンクリート基礎 外壁複層塗材E 軒裏外装薄塗材E	21.5m ²
外壁複層塗材E	138m ²	外壁改修後、下地調整 (CM-2) の上、ルクシ系塗膜防水X-2 (立上)	
軒裏外装薄塗材E	17m ²	・その他 既存建具廻りシリング打替え (MS-2-15×10) ※水切り目地共	48m
<その他の改修>			
既存シリコン土間高圧水洗 (10~15MP・汚れ除去)	58.5m ²	金物取合シリング打替え (MS-2-15×10)	10m
既存高圧水洗 (10~15MP・汚れ除去) 、ガラス清掃 (外面) 共	12.3m ²	堅縫撤去・新設 ガーネット φ100 角柱2か所、金物共	12.3m ²
既存照明高圧水洗 (10~15MP・汚れ除去)	2箇所	<塗装改修>	
既存シリコン高圧水洗 (10~15MP・汚れ除去) 、持ち手 (既製品・樹脂製、2か所) 撤去・新設共	9.6m ²	既存鉄柱 (Φ65 H=850) DP塗装塗替え	1箇所
掲示板 (180×1800程度) 撤去・新設 撤去: 基礎周囲カット、コンクリート基礎 (300×600程度) 撤去共	1台	既存鋼管 (Φ30) DP塗装塗替え 3箇所	6.5m
新設: 7mm製、コンクリート基礎口650×1400程度、引違けり引、強化ガルバ、ソーラーLED照明付		既存床下換気口 300×150程度 DP塗装塗替え	6箇所
換気フード (350×350程度) 撤去・新設 新設: SUS製、防虫網付き、周囲シリング	3箇所	既存提灯かけ (Φ10 L=500) DP塗装塗替え	1箇所
換気口カバー撤去・新設 新設: 防水型、SUS製、ガルバ付き、周囲シリング	9箇所	既存TVアンテナ (Φ10 L=1000) DP塗装塗替え	1箇所
木-BOX (900×600×270程度) 撤去・新設 撤去: CB共撤去 新設: 屋外用、チール製、コンクリート架台	1台	既存シリコン棒 (幅120 L=11.8m程度) DP塗装塗替え	1箇所
消火器BOX (750×280×210程度) 撤去・新設 新設: 屋外用、チール製、コンクリート架台	1台		
水栓柱 (Φ100×600程度) 撤去・新設 撤去: 周囲カット切り、土間CON撤去共	1機		
新設: 合成樹脂製、横水栓共			

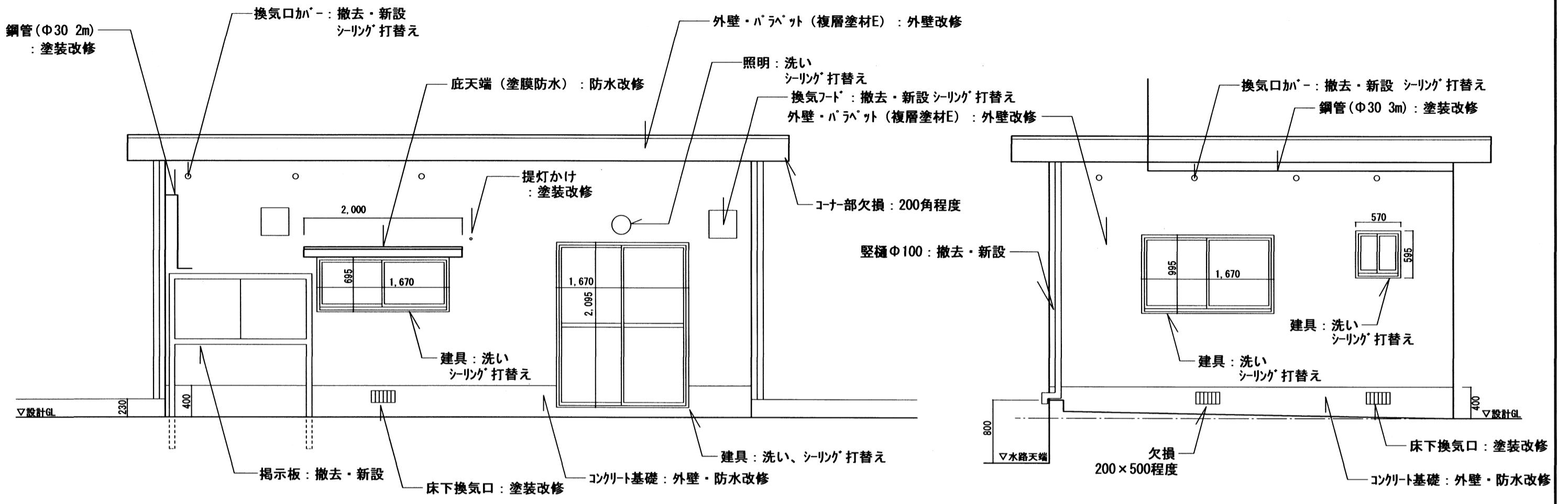
特記事項・



詰所平面図 1:100

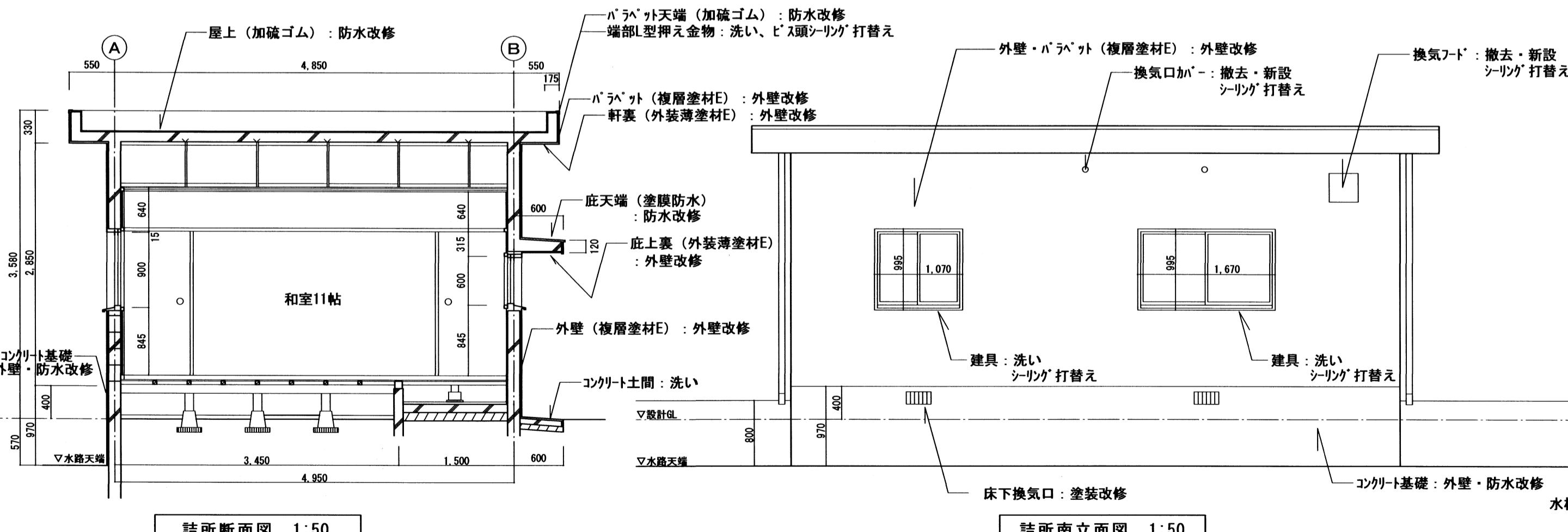


詰所屋上平面図 1:100



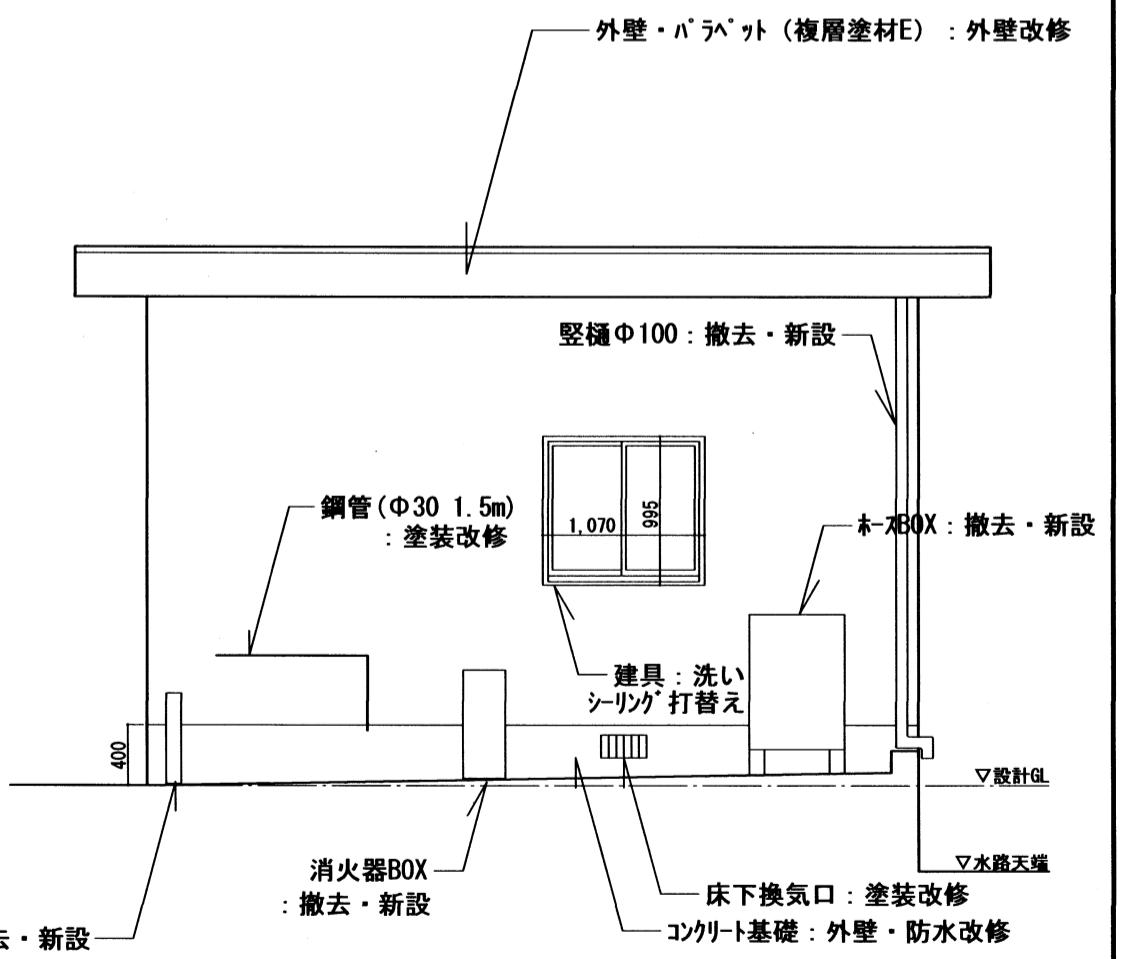
詰所北立面図 1:50

詰所東立面図 1:50



詰所断面図 1:50

詰所南立面図 1:50



詰所西立面図 1:50

特記事項・

.

.

.

課長

担当課長

係長

担当

担当

製作年月日

工事名称 明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事

内 6

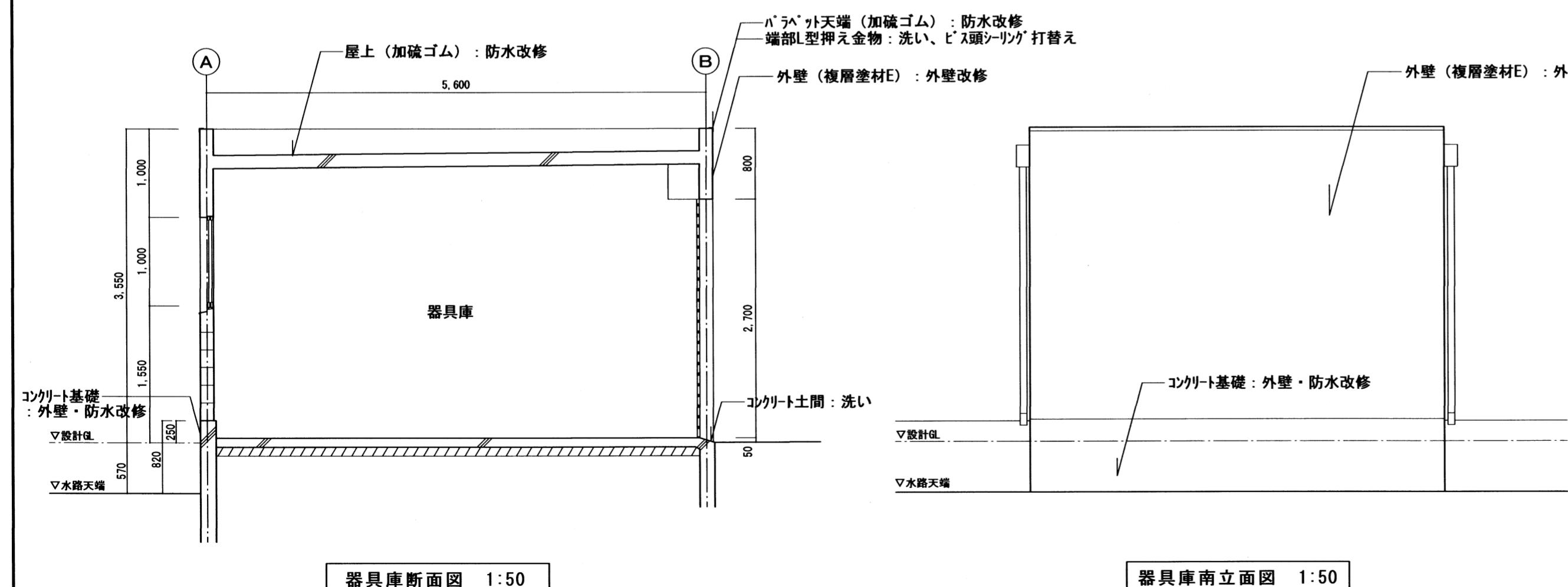
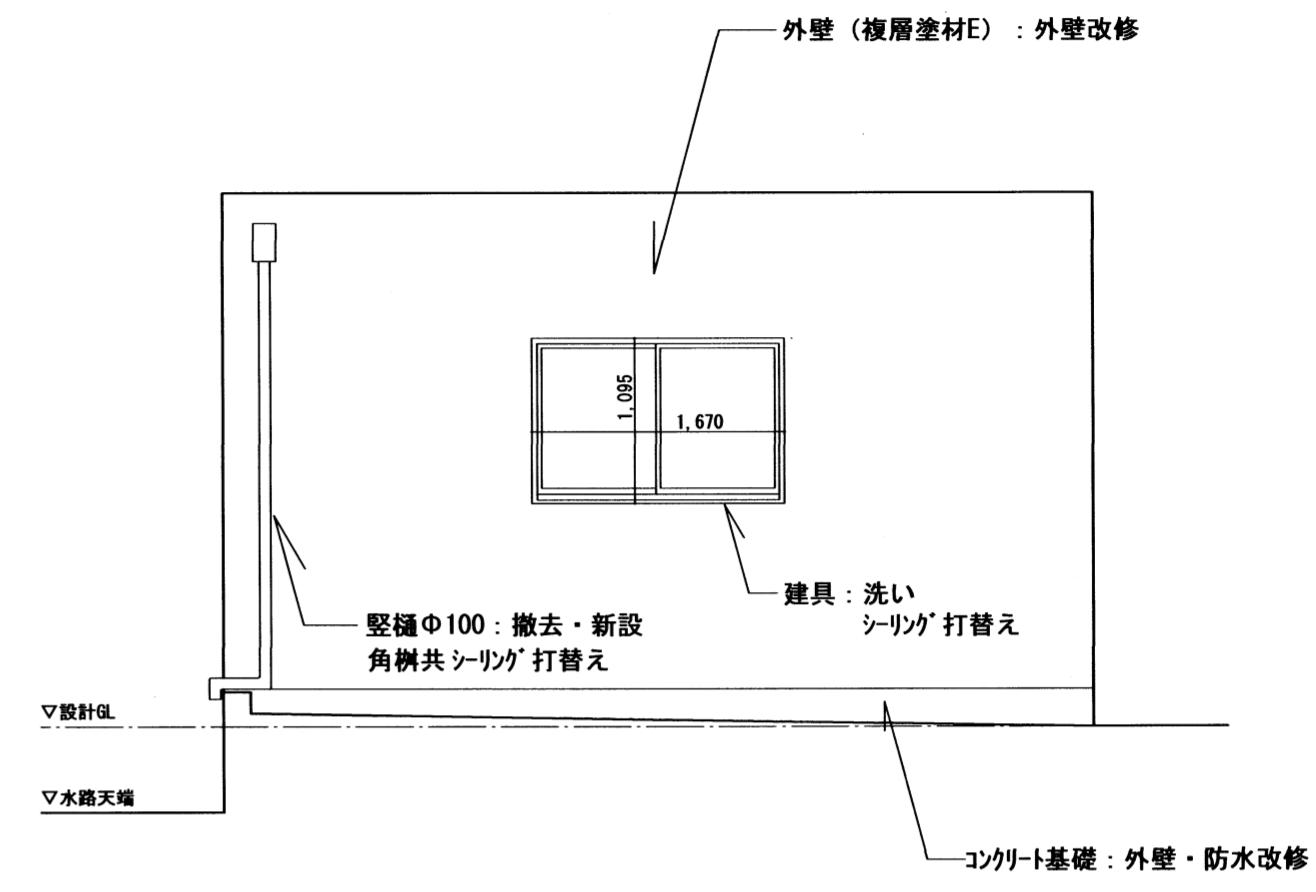
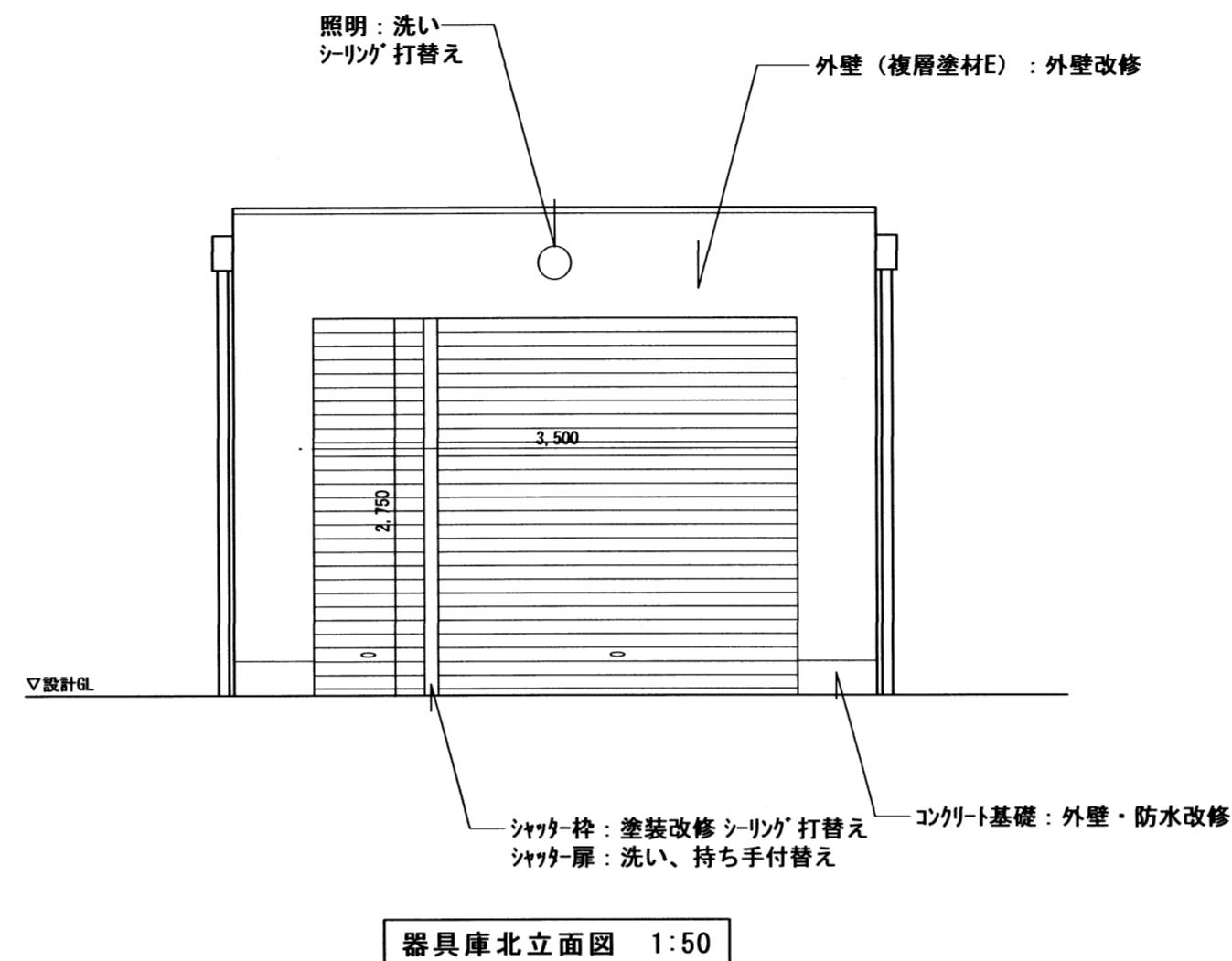
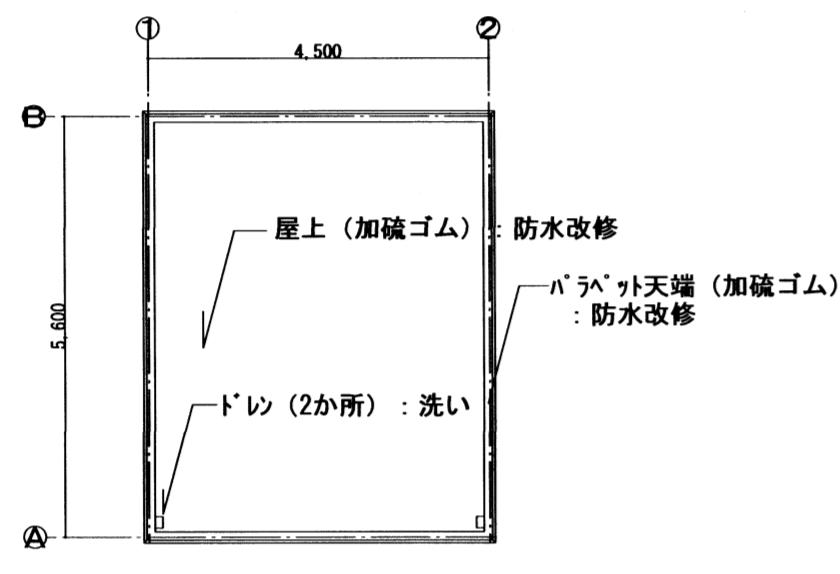
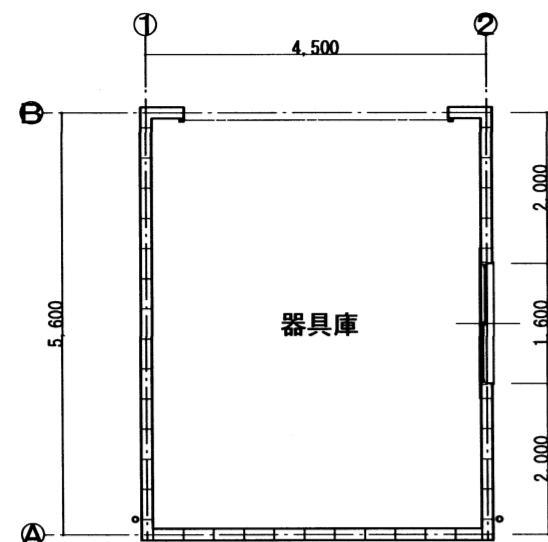
2022年10月

図面名称 詰所 平面図・立面図・断面図

全葉 7

明石市都市局住宅・建築室営繕課

縮尺 1/100 1/50



特記事項:	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	内
.	○	○	○	○	2022年10月	明石市消防団西二見班詰所・器具庫外壁改修工事	7
.						図面名称	
.						器具庫 平面図・立面図・断面図	縮尺 1/100 1/50 全葉 7